



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 4209号 2018.2.14 発行



カラフルカフェ 障がいのある人もない人も気軽に、楽しい時間を 市地域自立支援協議会、参加呼びかけ 臼杵/大分 毎日新聞 2018年2月13日 昨年9月の初めてのカフェ。菓子を受け取るゲームを楽しむ参加者

ニックネームで呼び合い 笑い絶えず心通う場に 福祉サービスの向上などを目的に臼杵市内の障がい者福祉施設などでつくる「市地域自立支援協議会」は、障がいのある人もない人も気軽に楽しく時間を過ごせる「カラフルカフェ」を開いている。認

知症の人や家族が集う「認知症カフェ」は県内各地にあるが、障がい者を中心に語らうカフェは全国でも珍しい。同協議会は「障がいは個性。一人の人として尊重され、お互いを認め合い、心が通う場になれば」と参加を呼びかける。【柳瀬成一郎】

介護福祉士 挑むインドネシア人 介護志す、揺るがぬ瞳 滋賀の老健施設

毎日新聞 2018年2月13日

一字一字漢字を書き込んでいくサラーさん=滋賀県湖南市の社会福祉法人八起会で、大澤重人撮影



憧れの国・日本の介護施設で、インドネシアの若い2人が昨年末から働きながら懸命に日本語と介護の勉強をしている。目指すは3年後の介護福祉士の資格取得だ。不合格になると、帰国しなければならない。10年目のEPA（経済連携協定）による介護人材育成の現場を見た。【エリア編集委員・大澤重人】

滋賀県湖南市の小高い山のふもとに、社会福祉法人八起会（はちきかい）（木村文一理事長）の介護老人保健施設石部ケアセンターがある。小さな部屋に入ると、真剣な表情で漢字書き取りにシャー

ペンを走らせる2人がいた。

日本語講師も驚く勉強ぶり

ルクマン・ユスフさん（28）と女性のサラー・マウレンさん（29）。「こうけんにん w a l i（インドネシア語）」とあれば、「後見人」などと答える問題だ。80問を解き、99点と97点。それでも悔しそうな表情だ。帰宅後も2、3時間教材を開き、日本語講師の谷田万実（まみ）さん（55）は「こんなに勉強してくれるとは」と驚く。

身分は介護福祉士候補者で、母国ではともに看護師だった。ルクマンさんは大卒。母国で約3000人もの応募の中から、295人の候補者に選ばれた。現地で半年間、昨年6月の来日後は愛知県の研修機関でさらに半年間、主に日本語を学んだ。日本政府が研修費を負担し、施設での就労後も助成している。

石部ケアセンターには昨年12月9日に着任した。日本語を学ぶ午前中も就労扱いで、基本給は大卒新卒と同じ17万5000円余。少なくない額を家族に仕送りしているという。ともにイスラム教徒で勤務中も2回、お祈りをする。

昼前に2人は、76人のお年寄りが入所するセンターに移り、昼食準備を手伝った。サラーさんは体操のお手本を示した後、「○△さん、こんにちは」とおしぼりを渡していく。就任1カ月で名前がすらすら出てくる。車いすの山口はついさん(96)は「気は優しい子で、ようしてくれます」と目を細めた。上の階では、ルクマンさんがおしぼりを渡していた。反応が鈍い男性には、その手を取り、丁寧に拭いてあげる。半年間は要員外の扱いだが、スタッフからは「もうローテーションに入ってほしい」の声さえ出ている。

資格試験機会、現状1～2回

ともに子どもの頃から日本に行きたいと考えていた。サラーさんは「ドラえもんが大好きでした」。着任後は休日にスキーをしたり大阪に行ったり、日本の生活を楽しみ、「便利できれいな日本で働きたい」。ルクマンさんは「日本の大学院で介護を学びたい」と願い、「安心な」制度のEPAを選んだ。毎晩1時間、ネットによるビデオ通話で母国に残した同じ看護師の妻(25)と話す。「合格したら日本へ連れてくるつもりです」。滑らかに言葉は出てこないが、十分伝わる。もっと伝わるのはその真っすぐな意欲だ。

日本で働き続けるには資格取得が条件。試験は年1回で、1回しか受けられない(現状では得点などで一定の要件を満たせば翌年も受験可)。取材の最後に「頑張って勉強してください」と伝えると、満面の笑みが返ってきた。

EPA10年目官から民へ

外国人の介護労働に詳しい静岡県立大国際関係学部の高畑幸(さち)准教授(社会学)は「EPAは制度として成熟した。今後は介護人材育成が、官から民へと動く時期だ。多額の税金を投入するEPAでの受け入れは先細りするのでは」と指摘。昨秋から受け入れ制度が始まった介護分野での技能実習生について、「大卒などが要件とされるEPAと違ってハードルが低く、介護現場で働く外国人はさらに多様化、悪く言えば玉石混交化が進む。蓄積された日本型の外国人介護人材育成のノウハウを生かすため、産学官民の連携が必要」と強調する。

外国人の採用競争激化

介護現場では2025年度に全国で約38万人の人材不足が見込まれ、外国人に熱い視線が注がれている。既に要員の3割を占める施設もある。社会福祉法人八起会は将来の人材不足を見越し、初めて受け入れた。

当初あった不安は、岐阜県の先行施設を視察し解消されたという。一昨年5月にEPAによる求人に登録し、マッチングの結果、2人の採用が決まった。

受け入れには慎重を期し、昨年6月の来日後に研修機関を4、5回訪れ、2人の相談に応じた。また、施設の入所者やその家族の懸念にも配慮し、説明文書を配布。外部講師を呼んで職員対象の人権研修も開いた。

2人の熱心な勤務態度を見て、八起会の澤九仁男副施設長(39)は「思ったより早くレールに乗れた。日本人スタッフにもかなりの刺激になっている」と相乗効果も期待する。

昨秋から介護分野での技能実習生(最長5年)受け入れ制度が始まったが、語学面の不安が拭えず、経営企画室参与の巖本(いわもと)元裕さん(66)は「今後もEPAによる採用を継続したい」と話す。今年度は対象全3カ国の8人を希望したが、現時点ではフィリピン人1人の採用にとどまっている。EPAによる人材獲得競争が激化しているという。

■ことば EPAによる介護分野への外国人受け入れ

EPA(経済連携協定)に基づき、条件を満たしたインドネシア、フィリピン、ベトナム人を受け入れている。国内の施設で3年以上実務を経験し、原則4年目に介護福祉士の資格を取得すれば日本で働き続けられる。2008年度のインドネシアから始まった。厚生労働省によると、これまで約3500人が来日し、約500人が資格を取得した。昨年

度の合格率は49・8%で、日本人を含めた全体では72・1%だった。

ファミリーデー 障害への理解深めて 有田川でにぎわう /和歌山



県有田振興局が毎年開く恒例イベント。

毎日新聞 2018年2月13日
ストラップやバルーンアートを作る子供ら＝和歌山県有田川町下津野で、阿部弘賢撮影

障害のある人とない人がふれ合う機会を通じて障害への正しい理解を深めてもらおうと、「有田地方障害児者ファミリーデー」が12日、有田川町下津野の町地域交流センター・アレックであった。地域の事業所による物品販売やおもちゃなどを手作りするコーナーもあり、大勢の家族連れらでにぎわった。

地元の竹使い「ひな人形」製作 岡山・障害福祉事業所「あおば」



山陽新聞 2018年2月13日
地元の竹を使ったひな人形などを作る「あおば」の利用者ら

桃の節句（3月3日）を控え、社会福祉法人・旭川荘が運営する障害福祉サービス事業所「あおば」（岡山市北区中原）の利用者が、同荘周辺に自生する竹を活用したひな人形作りに取り組んでいる。市内のイベントなどで販売する。

作品は、輪切りにした竹筒を横に寝かせ、内側にヒノキ製の人形をあしらった「竹の輪ミニびな」と、人形を立てた筒に収めた「竹筒ミニびな」。いずれも筒は直径約8センチ。竹を使わず、ヒノキの台座に人形を据えた一回り小さいタイプも手掛けている。

ひな人形は4、5年前から毎年作っている。同事業所は竹炭の製品を扱っており、今年は竹に着目した新たなデザインを加えた。20～50代の利用者ら13人が1月上旬に作業を始め、竹を乾燥させて絵の具やニスを塗ったり、ヒノキの板を糸のこぎりで切り抜き、色付けしたりしている。

3種類で計約150個を仕上げる予定。紙やすり担当の河太敏之さん（40）＝同市中区＝は「かわくなるよう一生懸命作っている。多くの人に飾ってもらいたい」と話している。

作品は、ひらた旭川荘（同市北区平田）で15日に開かれる「ひらたの市」や18日に神崎緑地公園（同市東区神崎町）である「太伯振興梅まつり」などで販売する。価格は500～1000円。個別販売もしている。問い合わせは、あおば（086—275—2074）。

「盲導犬」入店拒否や偏見...今も課題 育成団体の発足から半世紀 高齢化に対応

産経新聞 2018年2月13日

視覚障害者の目となる盲導犬の育成団体が発足してから半世紀、高齢や複数の障害がある利用者にも対応できる犬を選べるようになり、活躍の場は広がっている。生活に欠かせない存在になる一方で、同伴での入店拒否は後を絶たず、社会の誤解や偏見は大きな課題だ。



頼りになる相棒
盲導犬のベイスと地下鉄に乗って出勤する門川紳一郎さん＝大阪市

「僕は目が見えず、耳が聞こえないが、盲導犬がいるから外出ができる

る。この子なしの生活はもう考えられない」

大阪市の門川紳一郎さん（52）は自宅を出ると、バスと地下鉄を乗り継いで約1時間かけ、勤務先の事務所に向かう。左側には盲導犬のベイスがまっすぐ歩けるよう寄り添い、人や車がいれば避け、信号やバス停の前で止まって知らせる。

門川さんは生まれたときから目が見えにくく、4歳で聴力を失った。ついで外出を続けたが、視力が落ちて不安を感じるようになり、盲導犬を利用したいと関係者に相談。歩行で体が左右に揺れやすい門川さんを支えるため、大きめのベイスが選ばれ、平成28年からパートナーになった。

外には車の行き交う通りや交差点、人の流れが絶えない改札口がある。エンジン音や話し声は聞こえず、わずかな風や空気の流れなどが頼りだ。そんな時、曲がり角や段差を知らせてくれるベイスはとても頼りになる。

ニーズに対応可能

盲導犬は、昭和42年発足の日本盲導犬協会など11団体が、目の見えない人や視力の弱い人向けに育成している。障害者を支える補助犬には聴導犬や介助犬もいるが、頭数は最も多く、平成28年度で951頭。頭数が増え、利用者のニーズにも対応できるようになった。

盲導犬協会のベテラン訓練士で、ベイスを育成した田中真司さんは「門川さんのように条件が合えば、ふさわしい犬を提供できる」と話す。

利用者の中には40年以上にわたり盲導犬と暮らし、高齢になった人もいる。その場合は、お年寄りのペースに合わせてゆっくり歩く、落ち着いた性格の犬を選ぶなど工夫をしている。

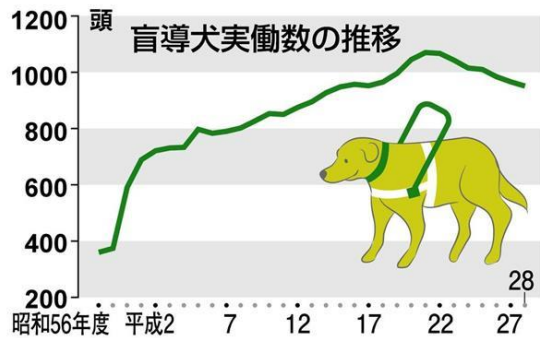
盲導犬協会によると、盲導犬を必要とする人は3千人。だが、周知不足や、費用が高いとの誤解が背景にあり、諸外国と比べると利用は低調だ。

無理解が背景に

盲導犬の現役期間は一般的に2歳から10歳ごろまでで、繁殖した子犬のうち、盲導犬になるのは3～4割。利用者とのマッチングは1年ほどかかり、繁殖や訓練技術の向上が必要になる。

誤解や偏見をどう取り除くかも大きな課題だ。国は、飲食店やホテルなどでの同伴受け入れを義務付けている。だが盲導犬協会の29年の調査では、入店やタクシー乗車を断られた人は55%に上った。他の客への気兼ねや、利用者が衛生面に配慮していることへの

- ◀ 利用者のそばに立ち、壁に沿って歩く
- ◀ 前に人や車がいいたら避けて通る
- ◀ 階段で止まって知らせる
- ◀ 曲がり角で止まって知らせる



無理解があるとみられる。

盲導犬を連れた男性が駅ホームから転落死した事故もあり、安全対策の徹底も必要だ。盲導犬協会は「犬と一緒にできないことはある。大丈夫と思わず、困っていたら積極的に声を掛けるなどしてほしい」と訴える。

米財政赤字 9840 億ドルに悪化 19 年度予算教書で見通し



日本経済新聞 2018 年 2 月 13 日

【ワシントン＝河浪武史】トランプ米政権は 12 日、2019 会計年度（18 年 10 月～19 年 9 月）の予算教書を議会に提出した。大型減税で歳入が頭打ちになる一方、国防費や公共事業費の積み増しで歳出が膨張。財政赤字は 9840 億ドル（約 107 兆円）と、7 年ぶりの水準に悪化すると見込んだ。社会保障給付の圧縮などで財政赤字を段階削減するとしたが、楽観的な試算に不安が残る。

トランプ米政権は 12 日、予算教書を議会に提出した（ワシントン）＝ロイター

米大統領の税財政方針を示す予算教書は、施政方針である一般教書、経済情勢判断を説明する大統領経済報告と並ぶ「三大教書」の一つ。税財政は上下両院に立案・決定権があるため予算教書に強制力はないが、議会審議のたたき台となる。

予算教書でトランプ政権は、19 会計年度の歳出を前年度比 5% 増の 4 兆 4070 億ドルと提案した。米議会が決めた 2 年で 3 千億ドルという歳出引き上げを一部織り込み、国防費の大幅増額を盛り込んだ。

米国防総省の発表によると、歳出膨張の主要因である国防費は前年度比 7% 増（要求ベース）の 6170 億ドル（約 67 兆円）。中国やロシア、北朝鮮の脅威増大を背景に、核兵器を含めた軍備の近代化を図る狙いで、別枠の「国外作戦経費」（戦費）として 690 億ドルを要求した。インフラ投資にも連邦政府予算を 10 年間で 2 千億ドル拠出する。

19 年度は歳入の伸びが 2% 台にとどまるため、財政赤字は大幅に膨らむと見込んだ。国内総生産（GDP）比でみた財政赤字は 19 年度に 4.7% に達し、12 年度（6.8%）以来の水準に悪化する。リーマン・ショックの影響を除けば 1986 年度（4.9%）以来で財政悪化は深刻だ。

ただ、20 年度以降は歳出削減で財政赤字が縮小すると予測した。生活保護や高齢者向け医療費などの社会保障費を削減するほか、学生ローンの見直しで教育関連予算も圧縮。歳出入を 10 年間で合計 4 兆ドル超も改善させる。財政赤字は 28 年度には GDP 費 1.1% まで縮小すると主張した。

もっとも、19 年の経済成長率を 3.2% と高めに見積もるなど、試算には甘さも残る。米議会予算局（CBO）は米経済の潜在成長率を 1.8% を分析するが、予算教書では減税効果などで 18 年から 24 年まで 3.0～3.2% の成長が続くと試算。減税後も高めの税込確保を見込んでいる。

歳出削減計画も楽観的だ。歳出のうち社会保障給付を除く「裁量的経費」は全体の 3 割を占める。そのうち公共事業費などの「非国防費」は年間予算を 10 年後に 3 割強も減らすとした。予算 1 ドルあたり 2 セントを圧縮する「2 ペニー計画」で無駄遣いをなくすというが、実現できるか見通せない。

金融市場を揺さぶる長期金利は、18 年平均で 2.6%、19 年も 3.1% と見込んだ。米連邦準備理事会（FRB）の利上げ観測などで、長期金利は 2.8% に達しており、市場では 19 年末には 3.5% を上回るとの見方が浮かんでいる。

待機児童対策で規制緩和、「公園内保育所」広がる

読売新聞 2018年2月13日



公園内保育所では、広いスペースでのびのび遊べるのも魅力だ（大阪府豊中市で）

認可保育所などへの入所を希望しても入れない待機児童の対策として、「公園内保育所」が注目されている。保育所の用地確保に悩む都市部の自治体が公園を活用できるよう、2015年に国家戦略特区法が改正され、規制緩和された。全国で17の保育施設が認定されている。一方で、設置できる公園に限られるなどの課題も明らかになっている。（藤本綾子）

のびのびと

大阪府豊中市の公園「ふれあい緑地」内で昨年12月、「トレジャーキッズふれあい緑地保育園」が開園した。関

西初の公園内保育所だ。

木々に囲まれた広場の一角にあり、保育所の中には、公園を訪れた親子連れが授乳やおむつ替えができるスペースも設けられている。

長男（1）を通わせる女性（39）は「自営の塗装会社で子供の面倒をみながら事務をしていたので、入所できて本当によかった。子供も公園でのびのびと遊んでいます」と喜ぶ。

同市は「住環境が良い」などの理由で子育て世帯に人気があり、全国的に少子化が進む中で、0～5歳児の人口が増加傾向にある。共働き世帯も増えており、待機児童数は11年には16人だったが15年には253人に急増したこともあり、特区の規制緩和を活用した。

今年4月には別の公園にも保育所が設置される。市担当者は「公園内にあるので、自然豊かな保育環境を提供できる点も長所」という。

住民も好感

これまで公園は、都市公園法により、遊具や休憩所、災害用の備蓄倉庫などしか設置できなかった。

だが、待機児童対策などを目的に、国は特区内に限って保育所などの設置を認めた。「保育所の敷地は、遊具などを除いた広場面積の3割以下」といった条件のもと、東京や横浜、福岡などで保育所や認定こども園の設置が認められた。

関西では豊中市、兵庫県西宮市、大阪府吹田市で計4施設が認定された。西宮市は今年4月、吹田市は19年4月に開園予定だ。

緩和の背景として、都市部では広い土地が少なく、地価も高いため、用地確保が難しいことが挙げられる。

また、用地があったとしても、住宅地の場合、近隣住民の反対で開設できないケースもある。

兵庫県芦屋市では16年、事業者が住宅地での保育所の新設計画を断念した。住民から「狭い道に送迎の車が増えると困る」「騒音で地価が下がるのでは」などの反対を受けたためだ。千葉県市川市でも、住民の反対で新設計画を取りやめている。

公園なら元々、子供が多く集まる場所のため、住民の理解が得やすいメリットがある。西宮市の担当者も「住民説明会では、『保育所ができれば明るい雰囲気になる』と歓迎する声も多かった」と話す。昨年には都市公園法が改正され、特区以外でも全国で公園内保育所を設置できるようになった。

条件厳しく

ただ、数の面での効果は限定的だ。

豊中市では412の公園があるが、「広さが足りない」「行事で使用される」といったものを除外していくと、条件に合う公園は「ふれあい緑地」など二つしかなかった。二つの

公園内保育所の定員合計は156人。同市内では15～17年度に保育施設の定員約2200人分が増えたが、その1割未満だ。

特区で認定された公園内の17保育施設の定員合計は約1700人（予定）。17年に全国で保育施設などの定員が前年より10万人増えたことに比べると、わずかだ。

厚生労働省も「都市部では一定の効果があると考えているが、国有地の活用や事業所内保育所の推進なども合わせて進める」とする。

子供と都市計画に詳しい三輪 律江・横浜市立大准教授は「公園内保育所は待機児童対策だけでなく、地域貢献など幅広い視点から捉えるべきだ」と指摘する。例えば、保育士が子供の目線で「危険物がないか」と確認すれば、公園の管理維持につながる。子供にとっても、地域と関わりながら成長できる場になるという。

「自治体は、保育施設を単に子供を預かる場所とみるのではなく、若い世代を呼び入れ、地域で子供が育つための拠点と位置づけたうえで、まちづくりを考えていく必要がある」と話している。

待機児童数と保育施設利用率の推移※厚生労働省



待機児童、昨年2万6081人

国や自治体が対応を進めているにもかかわらず、待機児童数は減っていない。国は2017年、保育施設などの定員を前年より10万人増やし、約273万5000人分を確保した。だが、整備が進むことで、利用希望者が増える「ニーズの掘り起こし」にもつながり、17年春の待機児童は前年より2528人増え、2万6081人だった。

また、待機児童が解消できない一因として、保育士不足も挙げられている。国は保育士の処遇改善や研修制度の充実を図り、人材確保に力を入れている。

「認知症サポーター」15万人に 県が数値目標設定、20年度末まで

山形新聞 2018年02月13日

県は、県認知症施策推進行動計画（2015～17年度）を改訂し、18年度から3カ年を計画期間とする新行動計画を策定する。改訂案では認知症の正しい知識を備え、患者やその家族を見守る「認知症サポーター」を20年度末までに累計15万人養成するなど具体的な数値目標を設定した。県はパブリックコメントを行い、県民から広く意見を募っている。

改訂案では、施策の方向性として▽認知症サポーターのさらなる養成▽若年性認知症に関わる支援強化▽介護事業所を拠点とした地域支援体制の強化▽発症者や家族らの交流拠点「認知症カフェ」の活動支援—などを盛り込んだ。

数値目標に関しては、認知症サポーターの養成数を20年度末までに15万人に拡大し、サポート体制の充実を図る考えを示した。17年12月末時点の養成数は11万6476人となっている。

認知症対応力の向上を狙った研修についても、受講者数の目標を明記している。いずれも20年度末までの累計で、かかりつけ医700人、歯科医師170人、薬剤師560人、看護職員370人とする方針。身近な地域で認知症の症状について早期に気付く環境を整え、迅速な対応につなげる狙いがある。

改訂案は県のホームページ（HP）で掲載しているほか、県庁1階の県行政情報センター、各総合支庁総合案内窓口でも入手できる。県はパブリックコメントを電子メールなどで受け付けており、県のHPなどから意見を寄せることができる。締め切りは26日。

担当する県健康長寿推進課は「認知症の人がより良く生きていけるような社会の実現を図っていきたい」としている。

「R-1 ぐらんぷり決勝」史上初の異色芸人・濱田祐太郎、お笑いを目指す理由と不安

スポーツ報知 2018年2月13日

R-1 ぐらんぷり 2018」決勝に進出した濱田祐太郎

伏兵だったアキラ100%がピン芸人日本一決定戦「R-1 ぐらんぷり」を制覇してから1年。今年のR-1決勝（3月6日）の舞台にも、異色の芸人が登場する。

生まれつき全盲に近い弱視という濱田祐太郎（28）だ。左目は見えず、右目は明るさを確認出来る程度という。同大会で、視覚の不自由な芸人の決勝進出は史上初。漫才日本一決定戦「M-1グランプリ」、コント日本一決定戦「キングオブコント」、女ピン芸人NO1決定戦「THE W」の決勝を見渡しても、出場例はない。

芸歴5年目の漫談家。自らのハンデを自虐的に取り上げるネタで笑いを誘う。障害をネタにすると、時に聞き手が嫌悪感を抱くようなきつい表現になることもあるが、濱田は違う。友人から「運転するの？」と聞かれたり、おばあちゃんに「私のこと見える？」と言われたり、「あるある」を適度なユーモアを交え、笑いに変えるのだ。自身が障害を抱えるから、説得力も増す。

驚かされたのは、そのポジティブ思考だ。濱田は小学生の頃、「ビッキーズ」「ハリガネロック」をテレビで見て、漫才の虜になった。中学生になると「将来、舞台に立ちたい」と強く思うようになった。「外で走り回るようなロケはできないけど、劇場なら話せる」。小中は健常者と同様の学校に通い、盲学校に入学。「親を安心させるため」に、18歳であんまマッサージ指圧師の、21歳で針とお灸の資格を取得した。

盲学校卒業後、吉本芸能総合学院（NSC）の35期生に。入学の際、NSC側から「目の不自由な人をサポートする仕組みはないから、どこまでできるか分からない」と言われたが、思いを貫いた。

耳だけで客の反応を推し量る。だから、舞台は「毎回、不安になる」。笑いが起きない時は「今日はお客さんがいない」と自らに言い聞かせ、乗り切るようにしているという。長距離の移動は、同期の芸人や吉本興業の社員に同伴してもらうこともある。

R-1は、人生で初の舞台だった。2012年の1回戦、自分なりにベストを出せたというが「むちゃくちゃ緊張した。ずっと膝が震えていた。家帰るまで震えていた」。一人やたらと笑う中年男性の声は今も耳に残る。初出場で準決勝まで進出した。

記者らの質問に真っすぐ、正直に答える姿勢に好感を持った。「他の障害を持った方を勇気づけたい思いはあるか」と聞かれた時だ。「特になんかですけどね。そう思われがちなんですよ。お笑いを通して、障害者への偏見をなくすため、勇気づけるためにやってるのはと。僕のネタを見て勇気づけられるのであれば、障害があってもなくても構わない」ときっぱり。

なぜ、そこまでお笑いにこだわるのか。「他にやりたいことがないから。マッサージ師をやりたいと少しでも思ったら、そっちの道を進んでいる。子供の時に見た漫才にはまって、お笑いに憧れ続けている」。

7回目の挑戦でつかんだ大舞台。R-1優勝は「一番近い目標」と言い切り、大きな目標は「お笑い芸人で生活していきたい」と語った。

「THE W」を制したゆりやんレトリィバァ（27）、ルシファー吉岡（38）ら常連も決勝進出を決め、敗者復活2人を含め12人で優勝賞金500万円を争う。テレビでタブーともされてきたネタが波乱を巻き起こすか、注目したい。（記者コラム）

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行

